



三珠中学校校長室だより
令和7年6月 9日発行
No.10
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちらから！



峡南地区総合体育大会

6月5日（木）・7日（土）の両日に渡って行われた峡南地区総合体育大会の結果をお知らせします。

▼軟式野球部

野球部は春の大会では三珠中・市川中・富士川中の3校でチームを組み、地区大会を見事に勝ち上がり、県大会でも塩山中に勝利し県ベスト16入りしたのは記憶に新しいところです。今大会、市川中が9人そろったため単独でチームを組むことになり、富士川中と合同チームを組んでの参加となりました。春の県大会から程なくして迎えた今大会。ポジションの変更等もあり、練習量は決して十分とは言えない中での試合となりましたが、南部中相手に接戦を演じます。5-4と1点をリードした最終回、もう少しで勝利というところで逆転を許し、5-8で惜しくも逆転負けとなりましたが大健闘をしてくれました。



▼女子バレーボール部：女子バレー部は3年生1人、2年生6人、1年生1人の計8人で最後の大会に臨みました。初戦の市川中戦はセットカウント0-2で敗れはしたものの春の大会からの進歩が随所に見られました。



続けて迎えた対身延中戦。お互いの試合に負けると県大会への道が閉ざされ、3年生は引退となる重要な試合です。第1セット、2年生の効果的なサービスで5-0と電光石火のリードを奪いますが相手も必死に食らいついてきます。試合中盤まで一進一退の展開となりましたが終盤に引き離されこのセットを落としてしまいます。第2セットも試合最終盤まで接戦となったものの敗れてしまい、県大会出場はなりませんでした。試合終了まで中学生らしい懸命なプレーを見せてくれた選手たち。特にこれまで1人でチームを引っ張ってきた3年生の1つひとつのプレーには気迫を感じました。3年間の集大成となる素晴らしい試合だったと感じました。



▼男子バレーボール部：男子バレー部は7月19日に開幕する県総体への出場が決まっているため、この大会は現時点でのチーム力を確認できる大切な機会となりました。対戦した2校のうち南部中は県



4位の実力のあるチーム。終始、ペースを握られましたが、3年生の攻撃が決まって得点したシーンは圧巻でした。続いて行われた市川中戦は接戦となりましたが終盤に流れをつかむことができず、公式戦初勝利はお預けとなりました。県総体では念願の勝利を期待しています。



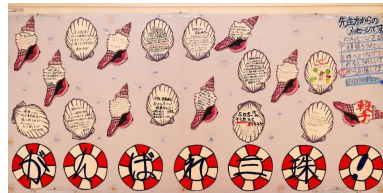
▼ソフトテニス部：ソフトテニス部は5日（木）に個人戦を、7日（土）に団体戦を行いました。5日の個人戦には5ペアが出場し、1年生ペアが見事勝利（内1名が重複だったため2回戦には進めず）することができました。しかし他のペアは初戦で敗れ、県大会の切符を手にすることはできませんでしたが、団体戦に向けての課題を明らかにすることができました。



▼7日に行われた団体戦は、チームのテーマを掲げて戦いました。テーマは『弱い自分とさよなら』。グループリーグ戦・順位決定戦の合計3試合を戦い、結果的には勝利することができずに悔しい思いをしましたが、終始、テーマを意識した行動が見られました。試合に出なかった1年生も終日、大きな声援を送り続けてくれました。戦いを通して、テニスだけでなく人間的な成長も見られた2日間となりました。

▼部活動の意義は成績だけではありません。スポーツの楽しさを知ること、相手への敬意をもつこと、そして自主性を身につける等、大切なことを学んでいきましょう。

▼応援メッセージを作ってくれた総合文化部は、みたらし団子とガトーショコラをみんなで協力して作りました。



おいしくできました